



宗四小だより

11月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 572 名 令和3年10月30日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



「自尊感情・自己効力感・自己肯定感を育てるには」



校長 高柳 政行

今月の11月号では、7月末にご協力いただきました学校アンケートについてお話させていただきます。

学校評価児童アンケート・保護者アンケートでは両者ともに「学校は楽しい」「授業がわかりやすい」「先生に話を聞いてもらえている」「先生（学校）は、いけないことをいけないと言っている」などの項目で高い肯定的回答（90%以上）を得ました。これらは、本校の強みだと考えます。

反対に「自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる」「まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている」という項目は両者とも他の項目に比べて肯定的な回答が低く課題と考えます。

児童アンケート結果の最大の課題は、「自分のことが好きで大切に思っている」の肯定的な回答が低かったです（3年86%、4年75%、5年60%、6年38%）。

また、そのアンケート項目と関連した教師による学校短期目標の振り返りアンケートの一つである「自分も友達も大切にしながら互いにに関わり合い、自尊感情を高めあっている」の肯定的回答も他の項目と比べ73%と低い結果でした。しかし、一方の保護者アンケートでは「お子さんは自分のことを大切に思っている」の項目で95%と高い肯定的な回答結果でした。



ここで、学校だよりを読んでおられる皆様に考えてほしいことがあります。子どもは大人が思っている以上に自分のことを否定的に見がちであるということです。大人は、子どもを「できない・やれていない」と否定的な評価をしがちではないでしょうか。

大人が一生けん命になるほど子どもはやる気をなくしていないのでしょうか？ 「あなたはだめ」「もっとしっかりしなさい。そんなことでどうする」などの否定語が多くなっていないでしょうか？

それでは、どうすればよいのでしょうか。

一つの手立てとして、当たり前なことだと思えることでも、できていることに目を向けて実況中継してみましょう。例えば、自分で朝起きてきたら「自分で起きられたね。」、勉強をやり始めたら「勉強しているね。いいね。」、家の仕事をしたら「お風呂そうじありがとう。助かるよ。」のように認め、励ましてみましょう。できたこと、できかかっていることを認めたり、次がんばろうと励ましたりすることなど、大人が肯定的なやる気の出る言葉がけを多くしていったらどうでしょう。それらの言葉をたくさん聞いた子ども達はどうか想像してみてください。少しずつ自分自身を肯定的に捉え、自分のよさを感じ、自分を好きになっていたり、大切に思う気持ちを持ったりしていくことでしょう。



今回のアンケート結果を児童の実態として受けて止め、10月以降、学校全体として、「自尊感情・自己効力感・自己肯定感」をキーワードに「自分のよさや可能性の伸長」と協働的な学びの充実と友達のよさを知る」ことのできる教育活動に力を入れていくこととしました。また、具体的な重点項目として、以下の点を掲げました。

- (1) 自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができるようにする指導・支援の取組
- (2) まわりの人を大切に言葉がけや行いができるようになるための指導・支援の取組
- (3) 児童の学習への意欲を高めるための実践の充実や新たな取組

なお、校内における各教科部会、各分掌部会、各学年・学級ごとに、取組案・改善案を作成し実践している最中です。具体的な取組の様子や成果などにつきましては、各種たよりや懇談会等でお知らせさせていただきます。



* アンケート結果等の詳細につきましては、メール配信や学校ホームページに掲載させていただきましたので、ご覧ください。